

## 全国漁業共済組合連合会 会長理事 宮原淳一

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新春にあたり、皆様の本年のご多幸を心よりご祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと、年明けからの新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、新たな生活様式が求められるなど、これまでに経験したことがないような生活を送らなければならない一年となりました。水産業界においても水産物の急激な需要の減少、魚価の下落等、漁業経営はもちろん、水産業に関わる多くの方々や漁村地域に現在もなお多大な影響を及ぼしています。7月には「令和2年7月豪雨」が発生し、九州や中部地方を中心に河川の氾濫や土砂災害などの甚大な被害が起きました。さらに、環境異変等を主因とした不漁が恒常化しており、さんま、さけの外、各地の主要魚種でも不漁が相次ぐ厳しい一年となりました。

このようななか、令和2年度の「ぎょさい」と「積立ぷらす」の引受・支払実績はいずれも過去最高となった令和元年度を上回るペースで推移しており、漁業経営を守る「ぎょさい」と「積立ぷらす」が果たす重要な役割が改めて広く認識され、漁業者からの期待はかつてないほど高まっております。昨年4月から新たなスローガン「令和の備えも『ぎょさい』と『ぷらす』」を掲げて普及推進運動を展開しており、漁業者のセーフティネットとしての機能を発揮すべく、今年度の目標である共済金額7,392億円の達成に向けて引き続き普及推進に努めて参ります。

今年は延期となっていた東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定です。新型コロナウイルス感染症の早期収束を願うとともに、一刻も早く平穏な日常を取り戻したいものです。また、甚大な被害をもたらした東日本大震災から今年で10年を迎えます。改正漁業法の施行を受けて、「漁業収入安定対策事業の機能強化と法制化」が引き続き検討される予定ですので、漁業共済団体として漁協系統・漁業者団体の皆様と緊密に連携し、今後とも漁業者の方々に自然災害対策・経営安定対策として「ぎょさい」と「積立ぷらす」を活用していただけるよう、より良い制度の実現に向けて取り組んで参ります。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の脅威のなか、普及推進にご理解・ご協力頂いている漁業関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。新たな一年が災害のない豊漁・豊作となることを祈念するとともに、漁業経営を守る「ぎょさい」と「積立ぷらす」のより一層の浸透・定着に努めて参りますので、本年も皆様の変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

